



撮影場所 忠元公園



伊佐市議会だより 50

令和3年5月

- 👉 3月定例会「議案の審議」・・・P 2～10
- 👉 議員 11 人の一般質問・・・P13～18
- 👉 第 50 号記念クイズ・・・P20

令和3年度 一般会計予算 163億円

3月議会 議案審議

会期：2月26日～3月22日（25日間）

可決

発委第1号

伊佐市議会政務活動費の交付
に関する条例の制定

議員による調査研究等の活動に月
1万5000円を支給。

可決

第10号

令和3年度一般会計予算

3年度予算の規模

163億円（前年比2.5%減）

【6つの重点施策】

1 安全・安心なまちづくり

【主なもの】

① 光ファイバ回線整備事業

3億3300万円

② 水道管路緊急改善事業

5250万円

2 地域産業の振興

【主なもの】

① 十曾青少年旅行村・楠本川溪流自然公園の整備

1億2910万円

② 曾木の滝公園トイレ改築工事

3950万円

3 移住・定住の推進

【主なもの】

① 移住・住み替え促進事業

2000万円

② 地域おこし協力隊の活動

3970万円

4 地域教育の振興

【主なもの】

① 山野小外壁・曾木小屋根他改修工事

8760万円

② 学校の環境整備

5710万円

5 文化芸術・スポーツの活性化

① かごしま国体伊佐市実行委員会負担金

340万円

② 野田あすかピアノ演奏会

60万円

6 業務効率化と計画的な財産管理

① 新庁舎建設設計委託

1億4800万円

② ふるさと納税基金

1億2380万円

【その他重点施策】

◎ 社会資本の整備

4億4210万円

◎ 令和2年度からの繰越土木工事

5億6250万円

◎ 旧布計鉱山第2堆積場の安定化対策工事

1億7600万円

可決

第2号

伊佐北始良環境管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更並びに財産処分について

伊佐北始良環境管理組合（未来館）の組織団体であった、霧島市の脱退に伴う変更。

可決

第11号

令和3年度
国民健康保険会計予算

3年度予算

37億5700万円

可決
第12号 令和3年度
介護保険会計予算
3年度予算 31億4740万円

可決
第13号 令和3年度
介護サービス会計予算
3年度予算 1610万円

可決
第14号 令和3年度
後期高齢者医療会計予算
3年度予算 4億7700万円

可決
第15号 令和3年度
農業集落排水会計予算
3年度予算 1億7570万円

可決
第16号 令和3年度
水道会計予算
3年度予算
収益的収入約3億6505万円
収益的支出約3億2995万円
資本的収入約1億5896万円
資本的支出約3億5553万円

可決
第17号 伊佐市ふるさと納税基
金条例の制定
寄附者の意向を反映した施策に効
果的に活用。

可決
第18号 伊佐市立小・中学校情
報通信技術環境整備基金条例の
制定
各学校に整備した情報通信機器等
の更新に要する費用を計画的に積み
立てる。

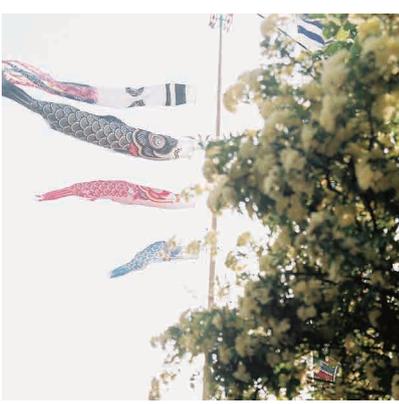
可決
第26号 伊佐市夢さくら館の設
置及び管理に関する条例の廃止
行政財産としての用途を廃止し、
普通財産に移管。

可決
第29号 伊佐市指定地域密着型
サービスの事業の人員、設備及
び運営に関する基準等を定める
条例の制定
第30号 伊佐市指定地域密着型
介護予防サービスの事業の人
員、設備及び運営並びに指定地
域密着型介護予防サービスに係
る介護予防のための効果的な支
援の方法に関する基準等を定め
る条例の制定
第31号 伊佐市指定介護予防支
援等の事業の人員及び運営並び
に指定介護予防支援等に係る介
護予防のための効果的方法に
関する基準等を定める条例の制
定

指定居宅サービス等の事業の人
員、設備及び運営に関する基準等
の一部を改正する省令の施行に伴う制
定。

可決
第32号 伊佐市指定居宅介護支
援等の事業の人員及び運営に関
する基準等を定める条例の一部
改正
指定居宅サービス等の事業の人
員、設備及び運営に関する基準等
の一部を改正する省令の施行に伴う一
部改正。

可決
第33号 伊佐市菱刈カヌー競技
場の設置及び管理に関する条例
の一部改正
第75回国民体育大会の延期及び名
称変更に伴う一部改正。



同意
第34号
監査委員の選任

宮原 孝文氏（新）

同意
第35号
教育委員会委員の任命

長野 則夫氏（再）

可決
第36号 令和2年度
一般会計予算の補正（第15号）

予算額を157万円増額し、予算
総額を215億2628万5000
円に。

可決
第37号 令和3年度
一般会計予算の補正（第1号）

予算額を300万円増額し、予算
総額を163億300万円に。

同意
第38号
副市長の選任

前田 創之氏

2年度の各会計補正予算
すべて **可決**
第3号 2年度一般会計
の補正予算（第14号）
第4号 2年度国民健康保険
会計の補正予算（第5号）
第5号 2年度介護保険会計
の補正予算（第5号）
第6号 2年度介護サービス
会計の補正予算（第1号）
第7号 2年度後期高齢者医療
会計の補正予算（第3号）
第8号 2年度農業集落排水
会計の補正予算（第3号）
第9号 2年度水道会計の
補正予算（第4号）

各条例の一部改正条例

すべて **可決**

- 第19号 伊佐市個通安全対策会
議条例及び伊佐市違法駐
車等の防止に関する条例
の一部改正
- 第20号 伊佐市報酬及び費用弁
償に関する条例の一部改
正
- 第21号 伊佐市職員の特殊勤務
手当に関する条例の一部
改正
- 第22号 伊佐市職員等の旅費に
関する条例の一部改正
- 第23号 伊佐市乳幼児医療費助
成条例の一部改正
- 第24号 伊佐市国民健康保険
例及び伊佐市国民健康保
険条例の一部改正
- 第25号 伊佐市介護保険条例の
一部改正
- 第27号 伊佐市営住宅条例等の
条例の一部改正
- 第28号 伊佐市スポーツ推進審
議会条例の一部改正
- 第32号 伊佐市指定居宅介護支
援等の事業の人員及び運
営に関する基準等を定め
る条例の一部改正
- 第33号 伊佐市菱刈力又一ー競技
場の設置及び管理に関す
る条例の一部改正

本会議で報告されたもの

報告1号

専決処分の報告書について

伊佐市文化会館敷地における事故
による補償

報告2号

専決処分の報告書について

報告1号に係る損害賠償に要する
経費の措置



議案への質疑

3月8日 本会議5日目

議案第3号 令和2年度伊佐市一般会計補正予算(第14号)

今村 事業継続緊急支援金2000万円の詳細は。

企画政策課長 給付額は1事業者当たり最大10万円を支給する。支給要件は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年12月から令和3年2月のいずれか1か月間の事業収入が前年同月と比較して20%以上減少した飲食関連業者に支援する。

議案第2号 伊佐北始良環境管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更並びに財産処分について

畑中 霧島市が組合から脱退する。伊佐市の対応は。

環境政策課長 霧島市の脱退は、伊佐市・湧水町の財政的負担の増大、将来にわたつての維持管理や稼働期間などにも影響が予想されたため、伊佐市・湧水町の不利益が生じないよう、また同時に霧島市との友好的な関係を崩さないよう協議を進めた結果、二者が納得できるものとなった。

議案第26号 伊佐市夢さくら館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

畑中 条例の廃止に至る経過は。
伊佐PR課長 夢さくら館は、農

林産物の加工及び販売活動の支援、農林産物の付加価値を高め農林業にかかる高齢者や女性の安定した就業の場の確保等を目的に設置されたが、現在は加工施設の利用などは行われておらず、その目的は達成されたと判断した。今後は民間の方などが主体となり、事業を行う場として活用することが地域活性化のために有効であると判断し、条例を廃止し普通財産へと移管した。

議案第27号 伊佐市営住宅条例等の一部を改正する条例の制定について

畑中 市営住宅ではなく「準ずる住宅」と改正されるのは何故か。

建設課長 こつがら団地の建物の老朽化と入居率の低下が問題視されてきたが、特定公共賃貸住宅を単に公営住宅とすることは法律上難しいので準公営住宅とし、所得制限を緩和した。入居率の向上と空き家解消、地域の活性化につながると考える。

議案第10号 令和3年度伊佐市一般会計予算

村岡 福祉タクシー利用料一部助成事業の改定されるいきさつは。

長寿介護課長 コロナ禍による高齢者ひきこもり防止のためのきつかけ作りや、飲食店及びタクシー会社への支援のひとつとして運用を見直す。乗車1回の利用枚数も3枚から5枚とし、遠距離でも利用しやすいものとした。

岩元 大学連携プロジェクト65万円の詳細を示せ。

企画政策課長 地域と大学が連携しコミュニティ活性化に取り組み。地域コミュニティの活力維持は重大な課題であり、新しい取り組みが必要不可欠である。モデル地域を選定し、大学生のもつ若い視点、幅広い見識を地域に吹き込み、住民と一緒に地域の問題解決を図る。

遠矢 ふれあいセンター大規模改修設計業務委託料2500万円の詳細を伺う。

財政課長 ふれあいセンターを現状のまま大規模改修を行うと想定した設計業務委託費である。新庁舎建設と合わせた基本設計が上がった段階で実施設計等を行う予定となるため、現在詳細を申し上げられない。

議案への質疑

3月22日 本会議6日目

議案第37号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算(第1号)

岩元 使用料及び賃借料300万円の詳細内容を示せ。

市民課長 65歳以上の方に対して新型コロナウイルス接種会場までのタクシー代初乗り料金の助成260万円と、予防接種台帳入力用端末2台分の賃借料40万円である。

議案第38号 副市長の選任について

前田 新副市長選任の経緯と期待することは何か。

市長 常識を打ち破り前例のない民間企業からの起用である。大都市である福岡との交流促進を考え、九州観光のトップ企業であるJR九州での人選を進めた。その中で改革を実行してきた前田氏の経験は伊佐市の行政に新風を吹き込んでくれるものと期待する。伊佐市の資源を活用した観光や交流の促進に大きな期待をしている。

市長、令和3年度の施政方針演説

※施政方針とは

市長の今後の方針と、一年間において行いたいことを表明する。
この施政方針は、令和3年度予算の根拠になっている。

【6つの重点施策】

1. 安全・安心なまちづくり
2. 地域産業の振興
3. 移住・定住の推進
4. 地域教育の振興
5. 文化芸術・スポーツの活性化
6. 業務効率化と計画的な財産管理



令和3年度 市長の 施政方針について問う

庵下 重点施策の4点目の地域教育振興の中の高校振興について、市長は大学奨励金等の各種支援策を見直し、改めて高校魅力化につながる施策の展開について新たに制度設計を行うと述べられている。大学進学奨励金等の各種支援策のこれまでの評価と見直しの内容について伺う。

市長 それぞれの高校支援策については、各高校の特色を生かした活動を展開され、魅力ある高校づくりの発信に生かされておられ、通学費補助などの補助金などを通じて定数確保の一助になっていると評価している。各支援策を強化する中で、現在実施している8つの補助事業の継続と下宿住宅等改修補助事業の廃止、また、大口高校に特化した大学進学奨励金は、令和3年度に制度を廃止し、令和4年度から新たな支援策を行うべく検討を進め、しっかりとした内容を固めて提示する。

森田 鳥獣被害対策で、食肉加工を充実させ、料理方法の提案や販路拡大、普及啓発に取り組みることについて、具体的に伺う。

市長 料理方法等については、伊佐米膳を開発、商品化された伊佐米膳推進会議と連携し、ジビエ料理の創作に取り組んでいただいている。また、販路拡大や普及啓発については、これまでブロッコのみで販売していたイノシシ、鹿肉をスライス加工、真空パックし、付加価値を高め販売する。今後は、ふるさと納税の返礼品として活用できる商品としても計画している。

今村 高校振興について、資格取得補助の実績は。

市長 伊佐農林高校に特化した補助事業で、資格取得をする生徒に対して1回上限1000円までの補助をしている。簿記実務検定や危険物取扱者など約30種類に毎年延べ1500人を超える生徒が挑戦している。入学者の増加や高校の振興につながっている施策である。

遠矢 施策方針には、「見て楽しむ『鑑賞』にとどまらず、多くの市民が文化芸術に関われるよう発表の場を創出し、音楽やダンス、演劇など若い世代が主体的に行う活動も支援を行います」とあるが、事業費が不十分ではないか。

市長 市民主導の活動では音楽、ダンス、演劇など、小中学生から大人まで参加している文化芸術活動も活発に活動されている。市としては、市民が自主的に行う様々な文化芸術活動を下支えする役割を行い、その活動を側面から支援し、後援を行うことなどが多くの市民が集う行事や文化芸術の創造につながると考えている。限られた予算の中ではあるが、今後発表活動の場として、公共施設の利用促進と文化芸術の推進を図っていきたいと考えている。



一般会計予算決算
委員会審査報告



岩元 努 委員長

一般会計予算決算委員
議長を除く全議員

第10号 3年度
一般会計予算

委員会での採決
「可決すべきもの」

委員 企画調整費、
31万2000円のうち総
合振興計画基本構想・基
本計画の策定期間は。

企画政策課 基本構想・
計画素案については、令
和3年12月予定である。

委員 新庁舎建設検
討事業・オフィス環境整
備支援事業445万50
00円の進捗は。

財政課 令和2年度は、
執務空間・案内表示等の
基本計画の検討段階であ
る。

委員 財産運用収入、
財産貸付収入57万800
00円の内容は。

企画政策課 旧山野中学
校格技場で、有機栽培の
お茶の葉を使用した「芳
香蒸留水」の製造販売・
配送業務を実施する「あ
またま農園」の賃借料で
ある。

委員 企画調整費、
負担金補助及び交付金、
移住・住み替え促進事業
補助金2000万円の事
業内容は。

企画政策課 一年以上の
空き家を居住目的で借家
や購入した場合、改修費
の5分の1、上限50万円
の補助金（移住加算・
子育て加算制度あり）

と、地元工務店による新
築費用の5分の1、上限
30万円の補助金（移住・
若者・子育て加算制度あ

り）である。

委員 商工費、商工
振興費起業チャレンジ支
援事業500万円の事業
対象は。

企画政策課 新規起業・
新規事業者、今年度から
空き店舗活用も事業対象
となる。

委員 商工費、観光
費、公有財産購入費82万
1000円の内容は。

伊佐PR課 新曾木大
橋下に整備予定である乗
船場整備に伴う、県道に
隣接している山林の用地
買収である。

委員 商工費、観光
費、工事請負費108万
7000円の事業のうち

楠本川深流公園の遊具解
体の理由は。

伊佐PR課 アスレチ
ック遊具の老朽化による
腐食が原因で使用されて
いない遊具の撤去である。

委員 民生費、保育
サービス費、保育対策総
合支援事業130万50
00円の内容は。

こども課 伊佐市外の保
育士を雇用する場合の、
宿舍費用の助成である。

委員 衛生費、予防
費、委託料1億2745
万6、000円の内容で、
ワクチンの供給量の状況
は。

市民課 医療従事者、
約1490人に対して、
975回分である。
(3月11日現在)

委員 教育費、教育
総務費、積立金2300
万円の内容は。

学校教育課 5年後の
タブレット更新費用の積
み立てである。

委員 教育総務費、
奨学費、貸付金2076
万円の内容について制度
見直しの考えは。

教委総務課 伊佐市に
帰郷あるいは、地元就職
者に対して返済免除制度
等、奨学金制度の見直し
を研究している。

委員 消防費、災害
対策費、委託料168万
1000円の内容は。

地域総務課 湯之尾地
区、地盤沈下観測業務で、
観測用地下センサー1個
が、データ数値に異常を
示したため、機器更新に
係る費用である。

委員 社会教育費、
社会教育施設管理費、ふ
れあいセンター大規模改
修事業2500万円の設
計業務委託の内容は。

社会教育課 外壁のフ
ラック箇所補修、施設整
備、水道、下水関係の配
管の見直しを想定した設
計業務委託費である。

委員 社会福祉費、
障害者自立支援費、11
30万4000円基幹相
談支援センター設置の内

容は。

福祉課 障がい者に対
する、相談支援事業所・
市役所窓口・福祉サービ
ス事業所等、相談窓口の
一本化を図り基幹相談支
援センターとして大口庁
舎内に令和3年秋を目前
に設置する。

委員 総務管理費、
財産管理費、委託料12
37万6000円の測量
登記業務委託の内容は。

建設課 市道境界の不
明確地を測量登記する業
務委託である。

路線	総延長	筆数	調査延長
1級市道 本城～荒田原線	1942m	9筆	60m
2級市道 国ノ十～重留線	1497.3m	30筆	480m
その他市道 下市山線	627.7m	12筆	627.7m

委員 林業費、林業

総務費、負担金及び交付金2588万1000円のうち電気柵ワイヤーメッシュ柵補助金の国庫補助、市単独補助の採択条件の違いは。

林務課 国庫補助条件

は、3件以上で1町歩(1ha)以上、市単独補助は、2戸以上3反歩(30a)以上が条件となる。

委員 農業費、畜産

費、負担金補助及び交付金のうち、牛伝染性リンパ腫防疫対策事業50万円の内容で管内約3000頭に対して200頭分の補助は適切か。

農政課 検査機関であ

る、共済組合、始良保健所の検査業務の限界もあり、今回200頭の補助金額である。

【討論】

反対

新庁舎建設に伴う、ふれあいセンター大規模改修設計委託費2500万円が計上されている。複合庁舎としての計画、改修費用が明らかにされていない。マイナンバー制度は、個人情報保護・人権侵害の問題がある。ほか同和対策事業、隣保館運営事業について指摘する。

賛成

新市長のカラーに期待する一方、財政的に厳しい状況にある中で、コロナ対策、災害復旧対策、公約である子ども医療費無料化に向けた予算が含まれている。新庁舎建設に向けた予算についても、当然いろいろな議論はあるが、時間的な制約もある。教育関係では、GIGAスクール構想に係る基金創設や様々な、新規事業も含まれている総合的に判断すべきである。

**総務産業委員会
審査報告**



今村 謙作 委員長

総務産業委員

- 柿木原榮一 庵下信一
- 岩元 努 森田幸一
- 竹原研二 村岡強志
- 久保教仁 今村謙作

**第15号 3年度
農業集落排水会計予算**

委員会での採決
「可決すべきもの」

委員 滞納金の回収は。

建設課

定期的催告書を送付、電話での催告場によっては訪問にてお願いをしている。

**第16号 3年度
水道事業会計予算**

委員会での採決
「可決すべきもの」

委員 管路緊急改善事業は、何か所あるのか。

水道課

40年を経過した管が23kmある。今回は大口地区を考慮しており、5年間で6路線4800mを一次計画としている。

**第17号 ふるさと納税
基金条例の制定**

委員会での採決
「可決すべきもの」

委員 基金条例を創設する理由は。

伊佐PR課

ふるさと納税により寄せられた寄附金を適正に管理し、寄附者の意向を反映した施策に効果的に活用するため。

ふるさと納税7つの施策

1	子育て・高齢者対策事業
2	青少年の健全育成事業
3	魅力ある観光地づくり事業
4	商店街の活性化
5	農林業の振興
6	コミュニティ活動の活性化
7	その他

**第26号 夢さくら館の
設置及び管理に関する
廃止条例**

委員会での採決
「可決すべきもの」

委員 相当な指定管理の額だが、譲渡の考えはないのか。

伊佐PR課

譲渡できればベストだが、固定資産税や管理など協議が必要である。

**第27号 市営住宅条例
の一部改正**

委員会での採決
「可決すべきもの」

委員 特定公共賃貸住宅から準公営住宅へ改正した場合の家賃の差額はいくらか。

建設課

特公賃の場合、世帯所得額が月額15万8000円以上の方で4万5000円の基準額になり、改正により公営住宅に準ずる家賃基準となる。



文教厚生委員会
審査報告



福本 千枝子 委員長

文教厚生委員

- 星野元興 遠矢寿子
- 緒方重則 前田和文
- 森山良和 畑中香子
- 武本進一 福本千枝子

第2号 伊佐北始良環境管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更並びに財産処分

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 霧島市の脱退で伊佐市・湧水町の負担は。

環境政策課 伊佐市・湧水町の負担分は4億円で、霧島市が3億8000万円の基金を残してくれるので相殺できる。

第11号 3年度
国民健康保険会計予算

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 保険税の見直しは。

市民課

令和3年度はコロナ禍でもあり、据え置くとした。4年度以降は見直しを実施する。

第12号 3年度
介護保険会計予算

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 介護保険事業の問題点と今後の見直しは。

長寿介護課

制度的にめまぐるしく変わってきている。今後は総合事業が拡大され、市の負担も増えると予想される。また、ヘルパー不足も出て

きており、若い人材が育たないなど後継者育成が一番重要となる。

第14号 3年度
後期高齢者医療会計予算

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 後期標準システム端末の365万円の減額は。

市民課

M CW E L システムから伊佐市で利用しているアクロンシステムへ移行することでその経費がかからなくなったため。

委員

1人当たりの年間医療費が111万円と聞く。解決に向けての取り組みは。

市民課

長寿健診を受け、高齢者の方も健康でいることが一番である。医療費は県平均より高くないので、必要な医療は受けていただきたい。

第18号 小・中学校
情報通信技術環境整備
基金条例制定

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 基金創設の理由と基金額について。

学校教育課

5年後には更新を迎えるのでその為の基金である。令和3年度は2300万円で5年間積み立てる。

第20号 報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 条例改正後の委員数について。

学校教育課

教育支援委員に医師1人、専門委員2人、いじめ問題専門委員会の委員は4人で構成される。

第23号 乳幼児医療費
助成条例の一部改正

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 対象となる非課税世帯、課税世帯の割合は。

こども課

非課税世帯12・4%、課税世帯87・6%。

委員

来年度医療費助成を拡充するのか。

こども課

令和3年度中には協議し対応していく。



政務活動報告

4月12日

目的

風力発電に関する見解聴取及び現地視察

調査した議員

- 星野元興、遠矢寿子、庵下信一、岩元努、森田幸一、緒方重則、前田和文

調査内容

- ① 風力発電所設置に関する見解を異にする出水市議会議員との意見交換
- ② 串木野れいめい・羽島風力発電所現地調査



討論

賛成！ 反対！

私はこう思う！！

議案第2号 伊佐北始良環境管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更並びに財産処分について

反対 畑中 香子議員

霧島市が組合から脱退することで残った伊佐市と湧水町で負担金をまかなうことになる。他の町のごみ受け入れ、基幹改良で効率化を行うとのことだが不透明である。ごみ袋の料金が突出して高い状況であり市民に理解されない。

賛成 前田 和文議員

令和5年3月31日をもって伊佐北始良環境管理組合から霧島市が脱退すること及びこれに伴い同組合の規則の一部を変更すること並びにその財産処分において協議したいので、地方自治法第290条の規定により議会に議決を求めるものである。

この三者合意がベースになり、話が進んでいく案件であり、協議の中でまた改善すべきはなされることを期待し賛成討論とする。

議案第10号 令和3年度一般会計予算

反対 畑中 香子議員

地方交付税が約2億5000万円減少するなか40億円8000㎡の新庁舎建設が予定されている。これに伴いふれあいセンターの大規模改修設計委託費が計上されているが整備内容について明らかにされておらず検討が不十分。

賛成 緒方 重則議員

地方交付税の減少などにより前年比2・5%減の163億円と厳しい予算編成となる中、新型コロナウイルス感染症対策や災害復旧費、新庁舎建設関連費用、新市長を迎え新たな一歩を踏み出す新年度予算であるとの考えから賛成する。

議案第11号 令和3年度 国民健康保険会計予算

反対 畑中 香子議員

都道府県化で税額が跳ね上がった。県の示す納付金要請額は昨年比マイナス13・48%であり、給付も減少している。税の引き下げを行うべきである。

賛成 緒方 重則議員

世帯数の32・5%が国保加入世帯であり、一般会計からの法定外繰入がないと支障をきたす現状である。平成30年度から保険者が市から県に移管され負担増が懸念されていたが、令和3年度は据え置きであることから賛成する。

議案第14号 令和3年度 後期高齢者医療会計予算

反対 畑中 香子議員

病気になるやすい75歳以上の高齢者を切り離し保険料をまかなうもので、導入時より批判があつた。期を増すことに保険料が上がり、来年度は消費税増税に伴う軽減がなくなる。

賛成 緒方 重則議員

少子高齢化が進む中、現役世代である若い方々の負担軽減を考慮するとともに、後期高齢者の皆様の段階的な負担をお願いすることもやむを得ないという立場から賛成する。



3月議会での議案等 38 件の中で、賛成と反対に分かれたもの

○は賛成、●は反対

議案番号	議案	村岡 強志	星野 元興	竹原 研二	遠矢 寿子	庵下 信一	武本 進一	岩元 努	今村 謙作	森田 幸一	緒方 重則	前田 和文	久保 教仁	畑中 香子	柿木原 榮一	福本 千枝子	森山 良和
2	伊佐北始良環境管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更並びに財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	※議長のため賛成・反対には参加しない
10	令和3年度 一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
11	令和3年度 国民健康保険会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
14	令和3年度 後期高齢者医療会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
38	副市長の選任について	無記名投票 : 賛成 14 ・ 反対 1															

議会のとりくみ



特別支援学校新設設置要望活動
令和3年2月19日

伊佐市に新しい特別支援学校をつくる会、橋本市長、森山議長、福本特別支援学校誘致調査特別委員会委員長、湧水町長・議長とともに、塩田知事に特別支援学校誘致に関する要望活動を行いました。

政務活動費の交付に関する条例を制定しました

※政務活動費とは・・・

地方自治法の規定に基づき、議員の市政に関する調査研究に必要な経費の一部として議員に対し交付されるものです。

伊佐市では、一人あたり月額1万5000円（年額18万円）が支給されます。

議員は、4月に交付を受け、年度末に収支報告書を提出し、残額は返納します。

収支報告書は議会だより・ホームページで公開します。

第3回臨時会「議案の審議」

1月28日

可決

第1号 令和2年度
一般会計予算の補正（第12号）

補正予算額 2396万円

新型コロナウイルス感染症対応
策関連経費

【主なもの】

- ①伊佐市PCR検査助成事業
- ②新型コロナウイルスワクチン接種事業



議案への質疑

主な質疑

議案第1号 令和2年度

一般会計予算の補正（第12号）

畑中 PCR検査助成事業の、
予算額と積算根拠について伺う。

市民課長 予算額は274万円で、
65歳以上の方と基礎疾患がある方60
人、それ以外の方を100人と見込
んで予算計上した。

畑中 新型コロナウイルススワ
クチン接種事業の準備体制確保の取組
み状況は。

市民課長 2月1日付で新型コロナコ
ロナウイルスワクチン接種調整班を設
置し、兼任、専任合わせて5人程度
を想定している。また、クーポン券
の印刷等、発送の準備は既に着々と
進めている。

柿木原 PCR検査助成事業の対
象者並びに開始時期、助成費、助成
回数、実施医療機関は。

市民課長 対象者は検査日におい
て伊佐市に住所を有する方及びその
方が加入する健康保険において被扶
養者となつていて、行政検査の
対象とならない方である。開始時期
は2月1日から、助成額は検査費用
の8割で上限額を1万円。ただし、
65歳以上の高齢者と65歳未満であつ
ても基礎疾患を有する方は上限額を
2万円とする。助成回数は1人につ
き1回で、実施医療機関は市内12の
医療機関である。

遠矢 ワクチン接種事業につい
て、外国籍住民への周知方法は。

市民課長 外国籍の方も住民基本
台帳に登録しており、対象となるの
で、クーポン券等は発送する。周知
方法については今後、国からの通知
に基づいて行っていく。内容を簡易
に翻訳するなど考えていかなければ
ならないと考えている。

福本 備品購入費で冷蔵庫を購
入とあるが、どこに設置するのか。

市民課長 医師会と協議中であり、
まだ、最終決定には至っていない。

福本 新型コロナウイルススワ
クチン接種事業のスケジュールは。

市民課長 国の通知・要綱に基
づいて進めている。第一に庁内に
チームを立ち上げた。次に、接種記
録管理のためのシステム改修の契
約。クーポン券等の印刷・発送の準
備。接種会場の確保・選定、冷凍庫
の設置場所など、医師会と協議中
である。また、クーポン券発送後の問
合せ、相談等が予想されるので、そ
の相談体制の確保などの準備を進め
ている。

武本 新型コロナウイルススワ
クチン接種後の副反応が起きた場合の
対応は。

市民課長 接種の手順として、医
師による予診・問診を行い、軽い副
反応や重篤な副反応が起こり得る可
能性等の説明を行った後、文書によ
り同意を得た場合に限って接種を行
うこととされている。また、接種後
は15分から30分程度の経過観察を要
するとされている。

副反応が起きた場合に対応するた
め、医師・看護師・必要な資機・機
材を配置し、対応に当たる。

市政を問う

11人が一般質問

① 久保 教 仁	13 ページ	
② 福本 千枝子	③ 森田 幸 一	14 ページ
④ 星野 元 興	⑤ 緒方 重 則	15 ページ
⑥ 柿木原 榮 一	⑦ 武本 進 一	16 ページ
⑧ 庵下 信 一	⑨ 岩元 努	17 ページ
⑩ 遠矢 寿 子	⑪ 畑中 香 子	18 ページ

問 県の資料によると、伊佐市の汚水処理普及率は60・8%。県内43市町村中33位で19市では17位である。鹿児島県平均は81・9%・全国の普及率平均は91・7%である。市民に快適な生活環境を提供することも行政の責務の一つである。伊佐市の汚水処理状況を、どのように考えているのか伺う。

答 河川の水質悪化を招く大きな原因は、家庭からの生活排水である。その対策として、農業集落排水施設の整備やくみ取り槽・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進している。今後、合併処理浄化槽の補助金制度や生活排水処理対策が果たす役割・効果



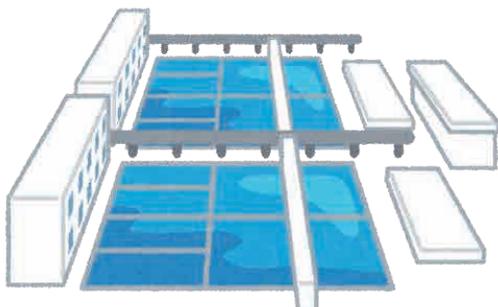
問 汚水処理の一つに、生活排水を溜めて地下に自然浸透させる、地下浸透型という処理方法を余儀なくされている世帯がある。このような地域に、合併処理浄化槽を設置できるように、住環境の整備を求める。

答 該当する区域にある市道の改良工事に伴い側溝の整備を行うことにより、周辺宅地の排水を集約する方法がある。また、物理的に排水路との高さ合わない地区については、道路改良工事とは別に、環境整備事業がある。市の単独事業となるが、この事業で排水路の整備をしていくことも考えら

る。

久保 教仁 議員

市の汚水処理状況は
市長／低い。普及率の向上に
努める



新型コロナワクチン接種は どうなるか

市長／全庁あげて医師会と連携し進める 福本 千枝子 議員



問 ワクチン接種券の発送、接種時期はいつ頃になるか。また、ワクチン保管のための超低温冷凍庫は何台でどこに配置されるか。

答 65歳以上の接種券付き予診票は3月中旬以降発送の計画だったが、国の対応が遅れ、現在医師会と調整中である。冷凍庫については、2月に北薩病院に1台設置、今後伊佐市に2台配置予定。

問 かかりつけ病院での接種や副反応への対応ができるのか。また、接種に不安な方への相談専門職員の配置は万全か。

答 住民向けの接種は15医療機関を考え、個別接種を基本とし集団接種も検討している。副反応については接種実施医療機関においては対処できる。関において対処できる。接種相談は一般的な問い合わせに対応するための整備を進めている。

**定住人口・交流人口
増加で活性化を**

問 コロナ禍で「テレワーク」は田舎でも仕事ができる状況である。定住人口増のため、大口南中跡等の廃校を、事務所として貸し出せないか。

答 老朽化が進み現状では厳しいが、今後、福岡や大都市圏に観光PRも含め強く動き、企業がそのような場所を必要とするならば頑張る。

問 元旦に「羽鳥 慎一モーニングショー」で曾木の滝が放映され、伊佐市にビッグチャンスをもたらした。市長の見解は。観光客を回遊させるため新曾木大橋周辺や下流を含めみじの植栽を検討できないか。

答 大変な反響であった。これを好機と捉え、PRを強化する。対岸側にもみじや桜の植栽、展望台の建設を県が採択している。



問 1期目が本格的にスタートした。市長として大きな夢があると思うが、どのような伊佐市を目指すのか。

答 伊佐の魅力ある教育、優しい子育て、稼げる地域、都市との交流、安心安全に暮らせる環境をキーワードに若い人が活躍できる、田園回帰の流れに沿った、移住者にも魅力あるまちづくりを目指す。



問 本市は過疎自治体である。3割自治体で、7割を交付税、国・県補助金に依存するの予算編成であるが、令和3年度から合併特例の激変緩和措置の適用がなくなる。今後、新庁舎建設費が予算化することになるが、財政運

政治姿勢を示せ

市長／魅力ある伊佐市を目指す

森田 幸一 議員

宮は大丈夫なのか。

答 今後、経常収支比率が悪化し、普通交付税も減少していく。庁舎建設

問 伊佐市は、特定公有財産基金の活用、合併推進債を検討している。この合併推進債は30年かけて返済していくので、急激な財政悪化にはならない。

問 市長との語る会で、菱刈庁舎の意見にどのように対応したのか。

問 菱刈庁舎の組織・機構について具体的に示していない。いつ頃、具体的に示すのか。

答 5月に基本設計が出来あがるので、その後、大口、菱刈地区で新庁舎建設と菱刈庁舎についての説明会を開きたい。その時に、菱刈庁舎にどういった課、機能を配置するか示したい。

答 菱刈庁舎を残し行政サービスを維持する。大口、菱刈地区、両方で市民サービスができるように検討していく。





パートナーシップ制度導入は

市長／当事者から要望なく

予定はない

星野 一元興 議員

問 現在、全国60の自治体で「パートナーシップ

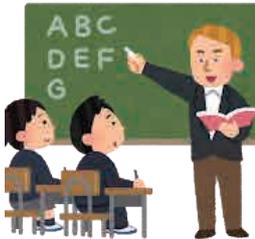
制度」は導入済みである。県内では、鹿児島市、指宿市において来年度内に導入予定である。伊佐市におけるパートナーシップ制度導入の予定を伺う。

答 当市においては、2つの市のような当事者または関係者からの要望がない状況であり、各種申請様式に性別記載欄を削除できるものがないか調査を実施している状況である。現在、導入について検討していない。

教育日本一とは

問 市内中学生の多くが、市外の高校へ進学する状況にある。学力の向上こそが、生徒、保護者の願いであり、教育日本一の真意ではないのか。

答 学校教育において、小中学校の先生方の資力の向上が、児童生徒の学力向上につながると考える。そのため、管理職研修会、学力向上対策委員会等を開催している。



問 土曜授業が実施されている小中学校は、全国で26・3%に過ぎない。この状況において今後土曜授業を継続するのか。また、今までの成果を伺う。

答 体験的な活動の実施にあたり、地域の協力を得やすい土曜授業日を効果的に活用している。また、土曜授業日に基礎、基本の充実の時間を設けた結果、市内の児童生徒の学力は向上傾向にある。現在、土曜授業は各校に定着しており継続していく。

大丈夫か！指定避難所

市長／公助には限界がある

緒方 重則 議員



問 異常気象による風水害などの自然災害が毎年のように発生し、その被害も年々甚大なものとなっている。市民の皆さま

んの生命・安全の拠り所である福祉避難所2か所を含む24か所の指定避難所の課題について新市長の考えを問う。

答 昨年9月台風10号の接近により24か所の指定避難所だけでは足りず、各小学校体育館と文化会館をあわせ37か所の避難所を準備、総数で930人の市民の皆さんが避難された。新型コロナウイルス感染症対策として一人当たり2m×2mの4㎡間隔を取るよう対応を求められていたが、厳しい状況であったと反省している。今後の避難所の更新については、まず行政の司令塔である新庁舎の建設を最優先として、耐震基準を満たしていない避難所については公共建築物個別施設管理計画の中で、建て替えや補強工事、そして避難所の再編成を検討していくのが順序と考えている。その間は、予想される災害の状況や季節に応じて臨機応変な対応が必要と考える。避難所在りきで考え

ても限界があると思う。今までの常識にとらわれず視野を広げた新しい在り方も進める状況にきている。「公助」としての機能には限界があるので「共助」として自治会や隣近所での安否確認の方法や避難場所の確認などしておくことが大切だと思う。



約40年前の埋設除草剤の 対策は

市長／撤去、安全管理を要請する 柿木原 榮一 議員



問 伊佐市内2か所に埋設してある2・4・5T除草剤への考え方は。

答 発生が予想される自然災害などを考えると、

撤去していただきたい。

問 新聞の写真は、伊佐市の埋設の仕様と異なるものが記載されているが林野庁からの通達を確認したい。

答 写真は、有刺鉄線等であるが、囲む方法は、ワイヤーロープ、トラロープ、柵、有刺鉄線等との通達である。



新型コロナウイルス
対策の関連融資の
返済について

問 中小企業や個人事業者への金融公庫・県・民間の融資の現状把握は。コロナ関連融資の返済が始まっているが、企業等

の存続や雇用は万全か。

答 申請数、金額等は把握していないが、無利子の融資を受けるため、危機関連保証等の申し込みで市への申請者が、215件で、飲食業・小売業などが多い。雇用調整助成金制度が活用されている。

問 伊佐市の支援策としての政策、伊佐市商工会振興資金利子補給補助金の活用はできるのか。

答 3月補正で、飲食関連事業者向けに、伊佐市事業関連継続緊急支援金を提案した。利子補給補助金は、制度上、対象外である。借り換えで該当できるが、トータルで不利益になる。

【その他の質問】
債務負担行為の考え方について



図書館での書籍消毒機の設置を 教育長／感染状況を見ながら 検討する 武本 進一 議員

問 新型コロナウイルス禍における図書館の衛生面の一つに、書籍を除菌する消毒機がある。この消毒機はノロウイルス、インフルエンザウイルス、そしてコロナウイルスにも除菌効果があるとされる。さらに本に風が当たる装置を使ってゴミや埃の毛、臭いなどを取り除く消臭抗菌の作用もある。また、消毒機で除菌された本だと、小さなお子さんがいらっしやる親御さんも安心して本を借りられる。そして多くの人々が利用する観点からも書籍を除菌する消毒機を設置してはどうか。

答 消毒についてはブックカバーフィルムがつけてあり、書籍を返却された時にその都度、職員が除菌シートでフィルム部分を消毒している。書籍を除菌する消毒機の設置については、来館者が安心して書籍に触れることや、職員の負担軽減からも感染状況を見ながら検討していきたいと考えている。

機関等の接種場所へ移動するのが困難な方についてはどのような対応をされるか。

認知症の方などの
ワクチン接種は

答 認知症の方については意思確認が難しい場合は、家族や医師の協力を得ても本人の意思が確認出来ないときは接種はできない。身体障がい者などの在宅療養患者さんで移動困難者については、かかりつけの医師等が在宅で接種を行うか、交通手段の確保と補助を検討している。

問 新型コロナウイルスワクチン接種に関して、認知症の方など自己判断でワクチン接種を希望することが難しい方についての対応を伺う。また身体障がい者の方で、医療





ふるさと納税制度への 市長の思いは 市長／非常に大事な制度と認識している 庵下 信一 議員

問 ふるさと納税制度が導入されて13年が経過するが、本市の過去5か年の寄附合計額は8億2000万円である。地域の宝物を掘り起こし寄附額を増大できれば、自主財源の拡大により幅広い市政運営が可能になると思うが、どうか。

答 自主財源が乏しい市にとってふるさと納税の寄附金は貴重な財源である。今年度の寄附額は2月末時点で3億6800万円、昨年度の約3倍の寄附額となっている。寄附額が更に伸びて本市の財政運営、市内事業者の販売促進に繋がるように取り組みを強化していきたい。

問 ふるさと納税の拡

大には、要員（マンパワー）・体制づくり・町のPRサイト数・委託先等との連携が重要である。中でも要員は最重要である。要員を増やして取り組みの強化を図る考えはないか。

答 ふるさと納税制度については、市長に就任して非常に大事な制度であると認識している。参加業者を増やして新しい商品の提供・案内も必要である。取組みについて他の自治体の分析も行ってあるので、体制に問題があるとするれば必要な体制強化を図っていきたい。

問 市民の中には菱刈庁

菱刈庁舎は存続を！
新庁舎は縮小を！

舎は耐用年数を経過した時点で、新庁舎に統合されるのではないかの思いがある。また、5月の基本設計完成時には、菱刈庁舎をどのような機能を持つ庁舎にするのか、明確にできるのか。

答 菱刈庁舎の耐用年数について言及していることが、菱刈庁舎を完全に廃止して、15年後に新庁舎に集約するという意味で言っているものではない。菱刈庁舎は存続して活用する。新庁舎に吸収させるというところは考えていない。また、5月に基本設計が出来上がるので、早急の内容を詰めて菱刈庁舎の在り方について示したい。

曾木の滝公園へ防犯灯設置の検討は

市長／新たに11か所設置する

岩元 努 議員



問 コロナ禍の観光地支援計画について、曾木の滝公園、十曾青少年旅行村2つの拠点の計画内容と具体的な運用計画は。

答 曾木の滝公園については、国が行う新曾木大橋下の乗船場整備に対する協力や、公園駐車場へ新たに11か所照明を設置する他、トイレ改修を行い、多くの皆さんが自然体験を楽しめる環境を整えていく。

十曾青少年旅行村は、感染予防や公園の魅力化を図るため、シャワー施設等を備えた管理棟の建設や、バンガロー改修、倉庫の建て替えを行い、さらに自然体験活動を促すために電動アシスト付き自転車を購入した。十曾池周辺コース設定も含め、具体的な運用は検討中である。カヌー、SUPについては、利用の際レクチャーやインストラクターの配置も必要であり体験教室や、ツアーの事業実施者が利用することを想定していく。さらなる利用者の増加を図るため、情報配信や適切な運用、事業実施について関係課、地域おこし協力隊、関係団体と協議、連携していく。管理者についても、指定管理者等の

導入について検討し、活性化を図っていく。

里親制度の取組状況は

問 伊佐市子育て短期支援（ショートステイ等）事業の具体内容を伺う。

答 保護者の疾病、その他の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合、または経済的理由により、緊急一時的に児童を保護する必要がある場合などである。児童養護施設、その他保護を適切に行うことができる施設において、一定期間児童を養育及び保護する短期入所生活援助を目的としている。



巨大風力発電への対応は

市長／住民生活や自然環境への配慮を求める

遠矢 寿子 議員



問 市境山間部に巨大風力発電計画が3つある。森林を伐採し地形を改変して10mほどの杭を打ち込み、高さ150mの巨大風車をそれぞれ30〜40

基建てる。羽1枚が60m、新幹線の車両2両分より長い。特殊トレーラーが通る作業道も森林を伐採して作る。工事により山崩れ、保水力の低下、水源汚染などが懸念される。水環境への影響は伊佐米にも及ぶ可能性もある。超低周波音並びに振動による健康被害も考えられる。市は計画に対しどのような立場か。

答 法令に定められた手続きに従って、市が行うべきことを粛々と行っていく。住民生活や自然環境に影響がないよう対策を講じるように求めている。配慮書に対しては、調整工事や施設設置後に下流域への土砂流出崩壊がないよう十分雨水対策に配慮した上で、利害関係者の承諾を得ること、騒音・振動・低周波等による周辺住民や家畜等への影響に配慮すること、自然環境及び景観に配慮することなどを意見として提出した。

新庁舎の住民説明会について

問 基本設計ができる5月から6月の住民説明会では新庁舎だけでなく、それに伴う歴史資料館や菱刈図書館の移設も含めた費用も説明し、2週間前までに資料を配布すべきと考えるが見解は。

答 要望として聞いておく。資料を全市民に配布するかは今後検討する。説明会は事前申し込み制申込者だけ資料送付になるかもしれない。

【その他の質問】

男性の育休取得、女性管理職割合
 コロナ禍が女性、子どもに及ぼす影響
 コロナ対策関連
 市の物品購入指針



新庁舎の内容明らかになせよ 市長／基本設計完成後説明する

畑中 香子 議員

問 40億円8000㎡の基本計画を示したのち、詳細を一切明らかにしないで、市長と語る会の中で「当局を信用して任せて欲しい」といわれたがこれは議会軽視であり、市民の市政参加を否定するものではないか。

答 機の配置など細かいことについて説明できないため我々や設計の専門家に任せて欲しい。5月に基本設計が上がったら説明会を開く。



問 ワークショップではふれあいセンターと一体化させる案を、平面図を示し検討している。この平面図案における庁舎の規模と建設費用について試算を示せ。

答 案の段階であり、試算は行っていない。最初に40億円と8000㎡を他市の規模や職員規模から打ち出したためそこで動いていくしかない。圧縮の努力をしている。

問 令和3年度は改修の設計委託費を計上している。ふれあいセンターはいずれ大規模改修が必要だ。庁舎建設と分けて考えて欲しい。改修費は有利な起債を検討する。

答 ふれあいセンターについてこれまで議会で改修費を認めながら改修を行ってきた。大規模改修を行うのかどうかの検討も議決も行っていない。一体化では莫大な費用がかかるのではない。

問 来年度予算でふれあいセンター大規模改修委託費を計上しているが、どの程度の規模と費用を見込んでいるか。改修費は合併推進債が使えないが過疎債など借入れを行うのか。

答 新しい庁舎のあり方、構造、改修費について検討の段階であり説明できない状況ではない。

令和3年
第2回定例会のお知らせ

○定例会は午前10時開会です。
6月

3日(木)	本会議(招集日)
4日(金)	本会議(2日目)一般質問
10日(木)	本会議(3日目)一般質問
11日(金)	本会議(4日目)一般質問
16日(水)	本会議(5日目)総括質疑
17日(木)	総務産業・文教厚生委員会
18日(金)	一般会計予算決算委員会
29日(火)	本会議(最終日)

※日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局(☎23-1335)
にお問い合わせください。

お知らせ 

- ◎「議員との意見交換会について」新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とさせていただきます。
- ◎ 議会傍聴につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、議会ライブ中継などを視聴していただきます様、御配慮をお願い致します。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

議会を自宅等のインターネットでも視聴できます。
(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】
↓
【行政・議会】
↓
【議会】
↓
【議会インターネット中継】

大口庁舎、菱刈庁舎、ふれあいセンター、まごし館では
議会ライブ中継をご覧になれます。




郵便はがき

お手数ですが
63円切手を
貼ってお出し
ください。

8 9 5 2 5 1 1

伊佐市大口里 1888 番地

伊佐市役所 伊佐市議会事務局 行

編集・発行責任者
議長 森山 良和

議会広報等特別委員会
委員長 岩元 努
副委員長 星野 元興

委員 村岡 強志
武本 進一
畑中 香子
竹原 研二

※編集後記※

今回表紙も、リニューアルし、デザイン、レイアウトも一新し、市民の皆様読みやすく、分かりやすい紙面作りを試みました。コロナ禍の中、色々なイベントや会合等が延期または中止となりましたが、その中で、皆様に情報をお届けする手段である「伊佐市議会だより」でなければならぬと思います。

記念すべき今回の第50号は記念ツイートを企画しました。皆様の多数の応募をお待ちしております。

これから先も、これまで以上に皆様に親しまれる紙面作りに向けて議会広報等特別委員会委員一同頑張っております。今後の議会だよりもどうぞご期待ください。

竹原 研二

